

オーバン神学校に学んだ人々

岡 部 一 興

序

1. オーバン神学校の卒業生
2. オーバン神学校の日本人留学生
3. 資料紹介：日本人留学生のリスト

序

2014年6月9日～20日にわたって、ニューヨーク市内にあるユニオン神学校とN.Y.州オーバン市にあったオーバン神学校を調査、さらにオーバン市の近くのオワスコ・アウトレットにあるS. R. ブラウン (Samuel Robbins Brown) が係わったサンド・ビーチ教会を調査した。

オーバン神学校は、1939年にユニオン神学校に吸収されたが、ユニオン神学校のパーク・ライブラリーにオーバン神学校の資料が残されている。オーバン神学校はなくなっているが、その校内には世界的な宝飾品で有名な「ティファニー」によって設計された素晴らしい教会堂が、ニューヨーク州オーバンの街にそのまま残っていて、在りし日の姿を彷彿させるものがある。

このたびオワスコ・アウトレットの改革派教会の牧師 (Rev. E. J. dewaard) を通して教会員であるローレルさん (Laurel Auchampaugh)

と出会い、資料調査に協力してもらい、アドバイスを受けた。ローレルさんはオーバンの街で30年来ヒストリアンとして、アメリカのキリスト教受容のことやオーバンの街のことなどについて調査、研究している。

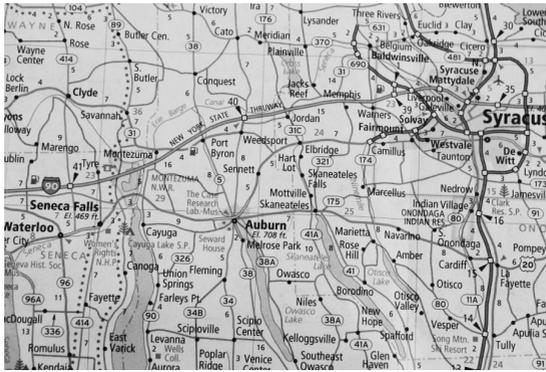
なぜ今回調査に行くことになったかを述べると、明治学院大学の「明治学院研究 I」の授業で、S. R. ブラウンとフルベッキを担当している関係から調査する必要が出たからである。フルベッキ (Guido Herman Fridolin Verbek) は、オーバン神学校に学んだあと、ブラウンと1859年11月に来日している。その神学校時代、ブラウンの牧するサンド・ビーチ教会で奉仕していた。そのつながりの中で来日するが、そのほかにブラウンと1859年来日した時に、最初の自給女性宣教師のミス・アドリアンス (Caroline Adriance) も同行した。周知の通り、ブラウン、シモンズ (Duane B. Simmons) は神奈川へ上陸したのに対し、フルベッキはサープライズ号に同乗し長崎に上陸した。またフルベッキの妻になるマニヨン (Maria Manion) やミス・キダー (Mary Eddy Kidder) もこの教会に所属していたことが判明した。ということで日本のプロテスタント・キリスト教の受容を考える時に、私はブラウンの影響からこれらの人物が来日したことに関心を持ち、サンド・ビーチ教会でどのような生活をし、同時に日本にどのような影響を与えたかについて興味を持ったのである。

また日本人牧師たちが神学の研究をする時に、必ずと言ってよいほどにオーバン神学校に留学し、研鑽を積んでいることである。オーバン神学校の留学生は、その多くが旧日本基督教会の教職であると同時に、明治学院神学部を卒業した者を多く見出す点において、明治学院にとっても見逃すことのできない資料を提供することになると考える。

そこで、今回は、サンド・ビーチ教会とS. R. ブラウンのことについては、別の機会に述べることとし、この資料紹介では、オーバン神学校の日本人留学生のことを中心に述べたい。オーバン神学校の日本人留学

生を調べてみると、日本のキリスト教会において活躍している人物を多く見ることができるし、日本のプロテスタント・キリスト教史において極めて重要な基礎的な資料を提供することになると思われる。

1. オーバン神学校の卒業生



オーバン、オワスコ湖、シラキュース地域の地図

オーバン神学校があったニューヨーク州オーバン市は、シラキュースとロチェスターの間に位置し、シラキュースから25マイルほどの所にあるフィンガー・レイクの一つであるオワスコ湖に近い緑豊かな所である。オーバン神学校は、1818年1月オーバンにあった第一長老教会牧師のD. C. ランシング (Dirck Cornelus Lansing) の呼びかけによって、オーバン神学校が設立されていくのである。⁽¹⁾

S. R. ブラウンの伝記を書いたW. E. グリフィス (William Elliot Griffis) は、その中でオーバン神学校について次のように述べている。「ニューヨーク州の中心部にある湖水地帯は、とくにS. R. ブラウンが専門学校と大学とでもってその地域を高めてから、大いなる宣教と教育の場になったことは、なんと喜ばしいことであつたらうか！ 19世紀が明けて、

オーバン神学校が会衆派として発足し、いまだその自由な探究精神によって影響をおよぼしており、ニューヨーク州の中心にあるユニオン神学校を生み出したのであるが、——ハーバート大学に加えて好評判の若干の専門学校と小学校などを実際に充足させているのである。現在、湖水地帯の都市、町、村々のほとんどの、それぞれの高等学校、専門学校、あるいは大学があり、それらのすべてが近代アメリカの典型的なコルネル大学に先導されたのである。』⁽²⁾

グリフィスがオーバン神学校は、会衆派によって発足したと述べているが、第一長老教会牧師のD. C. ランシングの呼びかけにより誕生したところに表れているように、長老派と会衆派の結合の中で生まれたとみた方が妥当のようである。『ユニオン神学校の半世紀』によると、西部への人口増加に伴って福音の広がりがみられる中で、オーバン神学校は教職者とレイマンのグループによって1818年に創立されていく。彼らは長老派と会衆派で、ニューヨークの西部で会衆派は二つの団体を作り上げ、長老派は1801年に長老教会総会において教職者を養成する学校の必要性からオーバン神学校の誕生になるのである。⁽³⁾

1918年オーバン神学校では、100周年記念式を行なっている。その時出した小冊子には、オーバン神学校の歴史、式典の様子などが記述されている。⁽⁴⁾ 1821年10月15日はじめての生徒を受け入れてスタートした。1824年に卒業生を出し、1855年を除いて毎年卒業生を出してきた。1821年～22年にかけて建物が建てられ、1872年にはドッジ・モーガン図書館が建ち、1875年にはモルガン・ホールが建設され、1892年から94年にかけてウイラード・メモリアル・チャペルとウェルチ・メモリアル・ビルディングが造られ、学長のハウスは1907年に建てられた。

オーバン神学校があった所は、オーバンの教会が立ち並ぶダントウンから住宅地に入ったところに、現存するウイラード・メモリアル・チャペルがある。1939年N.Y.にあるユニオン神学校に吸収されて、残され

た建物は、第2次世界大戦前後には海軍の訓練、退役軍人の住居などに使われ、1959年にはチャペルを残して解体された。1万5千坪ほどのキャンパスには、建物が壊される前には中央に5階建ての学生寮モルガン・ホール、図書館が中庭を隔ててモルガン・ホールの前方に見える。それに教室、ウィラード・メモリアル・チャペルなどがあつた。他に校長宅、教授宅、学生たちの食堂クラブハウスがある。



ウィラード・メモリアル・チャペル

これらの建物は、現在チャペルとそれに隣接するウェルチ記念館が残っているだけで、あとは壊されている。とりわけウィラード・メモリアル・チャペルは素晴らしい。ウィラードの名称は、長く神学校の理事を務めたシルベスター・ウィラード (Sylvester Willard) から取られた。このチャペルは、シルヴェスター・ウィラード博士と彼の妻を追悼するために、ウィラードの2人の娘の願いからティファニーの設計、施工を依頼しただけあって、ステンドグラス、バラ窓、シャンデリア、モザイク・タイル、金メッキの青銅の記念碑など手作りされて見る者を楽しませてくれる。⁽⁵⁾

では、まずオーバン神学校を卒業して、日本の伝道に関係した宣教

師を一瞥してみよう。1859年に卒業したフルベッキ (Guido Herman Fridolin Verbek), 1869年卒業ではルーミス (Henry Loomis), 1870年ウォルフ (Charles H. Walf), 1877年では、ノックス (George Willam Knox), 1896年ではブロカウ (Harvey Brokaw) などがいる。ここでは、調査が進んでいるフルベッキからノックスまでを述べたい。

フルベッキは1830年1月23日にオランダ、ユトレヒトのツァイストで生まれた。ユトレヒト工業学校を卒業した後、1852年9月渡米 Wisconsin州やアーカンソー州で働いた。アーカンソーで架橋工事の土木技師として働いていたとき、コレラに罹り、九死に一生を得た。その時かつてギュツラフの講演を聞いたのを思い出し、この病が癒えたならば外国伝道に献身したいと祈った。それが適えられて1856年にオーバン神学校に入学、59年S. R. ブラウンの推薦もあって来日することになるのである。

ヘンリー・ルーミスは、1839年4月4日NY州のバーリントンで生まれ、1859年ハミルトン大学に入学したが、南北戦争勃発するや義勇兵として北軍に従軍、戦争終結後ハミルトン大学に戻り66年に卒業した。さらにオーバン神学校に入り69年に卒業、72年5月24日長老派の宣教師として、夫人のジェーン・ヘリング (Jane Herring) と来日、74年9月13日18名の信徒からなる横浜第一長老公会 (現横浜指路教会) の初代の仮牧師になった。74年6月『教えのうた』(19編)なる讚美歌を奥野昌綱と編纂した。76年4月帰米するが、81年に再来日し1920年に亡くなるまで、日本に留まった。その間横浜居留地42番のアメリカ聖書協会日本支局の主幹として、同時に朝鮮のアメリカ聖書協会の責任者となり、1904年まで兼任した。⁽⁶⁾ また千葉県鹿野山でシジミチョウ科に属する蝶を発見し、H. J. S. プライヤーによってルーミスシジミと名付けられた。1920年8月28日死去、夫人とともに横浜外国人墓地に眠る。

ウォルフは1840年8月20日オランダで生まれた。1870年にオーバン

神学校を卒業、71年2月26日横浜に到着、72年12月に1カ年の契約をし、翌年1月に着任、弘前にある東奥義塾に初めての外国人「英学教師」として就職、73年1月に辞任している。⁽⁷⁾ 切支丹高札の撤廃がなされたとはいえ、弘前地方における「教導職」や学区取締の反キリスト教的感覚、警戒感もあり、1年間の契約ということもあって宣教師ウォルフの伝道をせばめさせた。その後、同年12月に本多庸一と共に東奥義塾に着任したジョン・イング (John Ing) とは対照的である。塾長本多の後ろ盾もあって、イングは東奥義塾の生徒を捉え、75年9月弘前教会を創立させ、78年3月に帰国するまで37名に洗礼を受け、弘前バンドなる一団を形成した。

ジョージ・ウィリアムス・ノックスは、1853年8月11日にN.Y.のロームに生まれ、父は著名な牧師、母は長老派婦人伝道会社長になった人であった。ノックスはハミルトン・カレッジ卒業後、オーバン神学校を卒業、1977年10月10日に来浜し、日本基督一致住吉町教会の仮牧師に着任、82年に辞任している。その後、東京一致神学校教授となり、神学博士のアメルマン (James Lansing Amerman) は帰国後系統神学及び聖書神学の講座を担当、明治学院神学部になくはならぬ教授となり、東京大学及び慶應義塾において倫理学の講義も担当した。明治学院神学部での講義ぶりは、その学説の歴史を叙述し、これに鋭い評論を加えたうえ、自説を展開したという。1888年プリンストン大学から神学博士の称号を得、またハーバード大学でも神学博士の称号を与えられた。

1893年帰米、ニューヨーク市郊外のハドソン河畔のライ教会の牧師をした後、1897年ユニオン神学校講師、99年教授となった。第一級の学者として、学者間に名声とどろき、日本の宗教や道德に関し種々の著書を発表、ユニオン神学校校長ホール博士不在中、古参教授に代わって校長代理を務める手腕の持ち主でもあった。明治学院の同僚インブリー (William Imbrie) は、ノックスが「日本基督教会」に貢献した点を次

のように述べている。第1は日本基督教会に貢献したこと、第2は伝道局の創設に尽力したこと、第3は土佐の伝道につくしたことを指摘している。⁽⁸⁾ 彼の神学思想を支配した人物に3人いて、ジョナサン・エドワード、ロツツエ、リッチェルへと進んでいった。彼が精力を注いだのは、哲学、神学及び倫理学にして、その専門の領域は「基督教弁証学」であった。1911年秋からユニオン神学校派遣による1年数ヶ月にわたる東洋講演旅行に出かけた。1912年4月10日ソウルに到着、これまでの疲労が重なって翌日発熱、悪性感冒から肺炎を起こし、4月25日急死した。

さて、オーバン神学校にはどのような日本人が留学していたのだろうか。まず指摘できるのは、サンド・ビーチ教会牧師のS. R. ブラウンがオーバン神学校出身のフルベッキを伝道局に紹介したことが日本との関係が深まる契機となったことが挙げられる。オーバン神学校に日本人が留学したのは、1882年に田村直臣がトゥルー (Maria P. True) とフルベッキの推薦により入学したのがはじめである。⁽⁹⁾ オーバン神学校は、1859年に来日したフルベッキが卒業した学校であり、トゥルー夫人の夫が出た学校でもあった関係からオーバン神学校に留学することになり、これ以後多くの日本人がオーバン神学校に学ぶことになる。1885年田村はオーバン神学校を卒業した後、プリンストン神学校に学び、M.A.の学位を得ている。

田村がなぜ留学することになったかであるが、田村の『信仰五十年史』によると、「私は京橋教会の牧師を辞するや、一大決心を以て米国に留学し、世界的宗教で、宗教の權威を特有する基督教の眞理を深く学び、其の教えの結べる果を目撃して、日本に於ける一大説教者たらんと欲望が心の底から湧き出した。」⁽¹⁰⁾

そして田村が京橋教会を辞任したのは、1882 (明治15) 年6月のはじ

めで、日本を発ったのは、同年8月のことであった。しかし、1882年11月3日付けの長老教会伝道局の幹事長ラウリーに宛てたG. W. ノックスの書簡によると、大分事情が違うことが分かる。1882年のはじめ頃、田村直臣が聖職者として不適切な行為をしたとして、長老会が譴責、東京中会でも問題になった。この問題を案じたミセス・トゥルーは、若い牧者の道を閉ざすのではなく、留学によって再生させる道を取ったのではないかと思われる。こうして「トゥルーのとりなし」によって、田村に留学の道が開かれたのである。⁽¹¹⁾

そこで、田村のオーバン神学校留学を契機に1939年にユニオン神学校に合併するまでに73人の日本人が留学している。どのような人物が留学しているかを次節で見ていきたい。

注

(1) John Quincy Adams, *A History of Auburn Theological Seminary 1818-1918*, pp35-37

(2) William Elliot Griffis, "A Maker of the New Orient, Samuel Robbins Brown, Pioneer Educator in China, America, and Japan. The Story of His Life and Work." W. E. グリフィス著渡辺省三訳『われに百の命あらば一中国・アメリカ・日本の教育に捧げたS. R. ブラウンの生涯』キリスト新聞社、1985年5月、101～102頁。ブラウンは来日前の1851年4月から59年3月にかけて、オーバンの街の近くにあるオワスコ・アウトレットのサンド・ビーチ教会の牧師として働いた。同時にスプリングサイドという学校をこの地で建てた。この学校の建物は、現在Springside Innという名称で、ホテルになっており、レストランや結婚式場として使われており、旧校舎の面影を残している。

またブラウンは在任中サンド・ビーチ教会の会堂を改築、1855年7月27日に献堂式を執行、その時オーバン神学校のサムエル・M・ホプキンズ教授が説教、彼はエール大学時代のブラウンの旧友であった。

- (3) Henry Sloane Coffin, *A Half Century of Union Theological Seminary 1896-1947*, New York, 1954 pp165
- (4) *Centennial Celebration of Auburn Theological Seminary 1818-1918*, Auburn, New York October Seventh, Eighth, Ninth and Tenth M CM XVIII
- (5) ウィラード・メモリアル・チャペルは、オーバン神学校が1939年にその使命を終えた後、1957年に、セブンスデー・アドベンティスト教会が、1988年まで慎重に建物を維持した。しかし、その後のオーナーがティファニーのステンドグラス、シャンデリア、バラ窓など、教会堂内のものをバラ売りにしようとした時に、地元の保存協会が立ち上がって募金を集め、これを買い取って歴史的建造物として保存することになって現存している。
- (6) 岡部一興編 有地美子訳『宣教師ルーミスと明治日本—横浜からの手紙』有隣新書 平成12年7月参照
- (7) 本多繁「三、明治前期における東奥義塾の意義—学校と教会と地域—」『宣教研究』No.3 日本基督教団宣教研究所 1969年10月
- (8) 横浜指路教会教会史編纂委員会編『G・W・ノックス書簡集』キリスト新聞社 2006年1月、参照
- (9) 梅本順子「田村直臣の留学再考：オーバン神学校時代を中心に」『国際関係研究』第32巻第2号 日本大学国際関係学部国際関係研究所 平成24年2月29日発行 抜粋 梅本順子氏は田村が書いた『信仰五十年史』では、田村のオーバン神学校における教育内容を補足しながら、オーバンでの生活実態を明らかにしている。なお、同氏は『闘う牧師、田村直臣の挑戦』大空社 2010年2月に出版している。
- (10) 田村直臣『信仰五十年史』大正十三年十月 警醒社書店 107～110頁
- (11) 1882年11月3日付けG. W. ノックス書簡によるとその事情を次のように述べている。「今年、1882年の初めころ、彼の教会員である既婚婦人との関係について良からぬ噂がたちました。この女性は告白状を書き、夫から離縁されました。長老会は田村氏を審問して主な嫌疑については（文字不明）無罪としましたが、聖職者として不適切な行為について有罪にしました。そして長老会と彼の教会の前に公に譴責しました。その女性は、その告白文は脅迫されて彼女から無理に取られたものである

と、告白文の取り下げを長老会に申し出ました、告白文の他には罪の証拠はありませんでした。田村氏は身の潔白を強く主張し、中会は彼を信じました。しかし、彼は2、3度彼女とだけいたことがあると告白し、このことのために長老会は譴責しましたが、そのことは日本人にとっては非常に不道德なことなのです。しばらくして後、田村氏はアメリカのシラキュースに行く意思を表明し、教会を辞任しました。そして彼は長老派の正規の会員であり、シラキュースの長老派に推薦すると述べられた正式の推薦状を得ました。トゥルー夫人の取りなしがなかったならば、私たちは皆一般的理由でもその手続きに反対でした。(以下略)」
123頁 横浜指路教会教会史編纂委員会編『G. W. ノックス書簡集』キリスト新聞社 2006年1月

2. オーバン神学校の日本人留学生

田村直臣がオーバン神学校に留学したのは、1882年のことであった。そこから1939年にユニオン神学校に合併される57年の間に留学した人たちの出身はどうなっていたかを記すと次の通りである。オーバン神学校に学んだ日本人留学生73名中、明治学院の出身が40人、同志社が9名、東北学院3名、青山学院2人、その他19人となっている。この数字をどう判断したらよいか検討する必要があるが、日本から海外へ神学研究のために留学した数としてはかなりの数字を残していると判断してよいと思われる。ここでは、他の神学校のことは調査していないので分からないが、メソジスト系神学校、組合派系神学校に留学した者もいたと思われる。なおオーバン神学校にはパプテスト系の出身者はいない。⁽¹⁾

第一に表れた特徴は、明治学院の出身者が40名で、全体の55%を占め、旧日本基督教会所属のメンバーは東北学院も含めると43名となっている。オーバン神学校では、毎年学報という紀要を出していた。日本

のどこかにそれらのものが保管されているかも知れないが、明治学院大学図書館にその一部が保管されている。学報の存在を知ったのは『福音新報』の記述からであった。日本宣教50年を記念して「日本号」という企画を立てて発行したことがある。

「小樽教会牧師光小太郎，東北学院教授ドクトル笹尾条太郎，横浜指路教会牧師毛利官治，明治学院教授山本秀煌，同松永文雄，高輪教会田島進，数寄屋橋教会田村直臣，衆議院議員蔵原惟廓，大坂西教会牧師馬場銚作，同東教会牧師川添萬寿得，東京神学社南廉平，金沢教会牧師長山萬次，松江商業学校長茂原茂，及び村上庄次（職業不明）の諸氏である」。(2)

この号には、ここに掲げた牧師の写真，家族写真と牧師自身の手紙が掲げられていて面白い。はじめにハーマン V. S. ピーク夫妻と7人の子どもたちの子沢山の写真が登場する。また山本秀煌，馬場銚作，松永文雄，長山萬次の4家族の微笑ましい写真がある。蔵原惟廓，田島進，髭を蓄えた茂原茂，村上庄次等の写真が続く。さらに毛利官治，光小太郎の立派な姿で撮影した写真の下に，母親と子どもが写った両家族の写真があり，毛利がこれから就職することになっているヘボンが建てた教会堂の写真を掲載している。紙面の関係で手紙を逐一取り上げることはしないが，一様にオーバン神学校での学習と留学生活を書きとめている。(3)

博士号を取得したものに1895年にオーバン神学校を卒業した笹尾条太郎がいる。笹尾は山口県下関に生まれ，明治学院神学部卒業後，92年学校推薦によりオーバン神学校に学び，続いてコロンビア大学，96年にはベルリン大学，ハレ大学，ボン大学でキリスト教とカント哲学を研究し，99年『カントの神概念』なる学位論文により哲学の博士号を取得した。1900年東北学院教授，1927年に明治学院に転任し，高等部部长を務め，1936年共立女学校の5代目校長として女子教育に従事した。(4)

笹尾条太郎のあと，明治学院神学部出身者が9人続く。1900年松永文

雄，1902年山本秀煌，1904年南廉平，1905年田島進，川添萬寿得，馬場銑作，森暁通，1906年光小太郎，1907年には長山萬次が卒業し，1908年には青山学院出身の村上庄次と同志社出身の茂原茂がいる。1909年のオーバン神学校卒業は，明治学院神学部出身者が2人で，大野直周と松本徳三郎である。

オーバン神学校を入学する条件としては宗派は問わないが，所属教会の証明と大学卒業程度の能力を有することとなっている。9月に始まり，翌年の5月で終わる形を取り3年間で終了することになっていた。オーバン神学校における教育カリキュラムはようになっていたのであるか。創立間もない時期では，即ち1823年1月，オーバン神学校のはじめのカリキュラムは次の通りである。⁽⁵⁾

1年生の履修科目，ヘブライ語，新約聖書の批評的読解，聖書地理，年代記と歴史，神学に関する精神哲学

2年生の科目，教義神学，聖書古代史，聖書の正典性，聖書解釈，ヘブライ語，新約聖書の批評的読解（続き）

3年生の科目，説教学と牧会神学，教会史，教会政治，聖書解釈の原理，過程を通じての説教と説教準備

神学校の学生たちは，モルガン・ホールという学生寮で生活し，時にキャンパスの中にある教授の家に招かれて交わりを持つことがあった。概して日本人留学生は，留学した日本人牧師の書いたものをみると，図書館に通い週日勉強するものが多かった。オーバン神学校に留学し，明治学院神学部の教授になった山本秀煌は，説教学に関心が高かった。アーサー・ホイット教授（Arthur Stephen Hoyt）からは，説教学で多くの影響が与えられたという。

また1915年に卒業した村田四郎は，4年間オーバン神学校で学んだ。この神学校を卒業した後，スコットランド，エディンバラのニューカレッジに行き，新約学を極めたいと考えたが，第一次世界大戦のため大

西洋を渡ることが危険であったため、オーバン神学校に留まって、じっくり勉学する方が良いということになった。特別にフェロウシップが与えられて、リグス教授（James Stevenson Riggs）について福音書の終末信仰をテーマにして研究した。また彼は、もう一人忘れがたい教授にアーサー・ホイトがいた。ホイトは説教学の教授として優れた説教書を書いている。ホイトは厳しい中にも暖かみがあり、その指導法は「鋭さと深さとは全く心打たれるものがあつた」と述べ、何を説教すべきかという本質を問うような指導をしてくれた。さらにリード教授は新約釈義学を講義、分かりやすく丁寧な教え方であつたと回顧している。⁽⁶⁾

旧日本基督教会において、オーバン神学校と関係が深かつた教会にヘボンが創立した横浜指路教会がある。1874年9月13日、18名の信徒によってヘボンの39番の施療所で教会が創立した。その初代牧師は、H・ルーミスであり、2代目牧師がG. W. ノックスであつた。そして4代目牧師の山本秀煌が卒業し、6代目牧師には1905年には毛利官治がいる。その後、7代目牧師には1939年にオーバン神学校最後の卒業生になつた菅生三雄がいる。菅生は主任牧師に就任して一年後、1941年1月に38歳の若さで急逝した。戦後10代目の牧師に村田四郎がいて、6人の牧師がオーバン神学校出身であつた。この点からみてもオーバン神学校との関係が深い教会であることが分かる。

では、その後のオーバン神学校に学んだ留学生はどうだったのであろうか。前述したように、1885年から1939年の間でオーバン神学校に学んだ日本人留学生は73名であつた。毎年の卒業生が20名前後、その中で2名以上同学年に卒業している年が19回、3名が同じ学年にいるのが7回、4名が4回、1924年は5名の者が同級生の中にいた。

1905年では4名の者が同級生、そして1915年卒業のところから19年3名、21年4名、24年が5名、25年3名、27年2名、28年3名、29年4名、30年3名、34年3名、37年4名、39年2名というように、1920年代から

30年代で51名が卒業しているのである。オーバン神学校が下降傾向に進む中で、日本の留学生が逆に増えていく傾向にあった。

前述したように、日本宣教50年を記念して、「日本号」の企画をした箇所において1909年までの卒業生を簡単に考察したので、それ以後の日本人留学生についてみていきたい。1910年オーバン神学校を卒業した者に都留仙次がいる。彼はこの学校を卒業後スコットランドのエディンバラ大学で学び帰国、明治学院神学部教授になった。1930年日本神学校創立時に同神学部の村田四郎と桑田秀延はその神学校に移ったが、都留は納得せず一人残った。1940年「フェリス和英女学校」の校長になり、51年旧約聖書の口語訳改訳委員長となり、57年から62年まで明治学院院長の職にあり、また同学院の同窓会長となり終生同学院と離れることはなかった。

1911年のところでは森田金之助がいる。明治学院中学から明治学院神学部を卒業後、武生、足利、南天満、常盤教会で牧会、オーバン神学校で学んだ。帰国後大阪神学院神学部教授、1925年招かれてウィルミナ女学校校長（現大阪女学院）に就任、気骨のある教育者で以後35年にわたり死ぬまで学院形成に邁進した。⁽⁷⁾

1915年に卒業した者には前述した村田四郎と出村剛がいる。出村は東北学院専門部を出た後、オーバン神学校を卒業してからランカスター、ユニオン両神学校に学び、東北学院神学部教授となり、院長を務め、宗教改革の権威者として名を成した。1919年には同志社出身の二瓶要藏と明治学院神学部出身の山本弥一郎と松尾造酒蔵がいる。松尾造酒蔵は1890年3月島原に生まれ、明治学院神学部を卒業、東北、小樽で伝道した後オーバン神学校を卒業、続いてエディンバラのニューカレッジに学び、1921年帰国し日本基督鎌倉教会（現鎌倉雪ノ下教会）に着任、58年間にわたって牧会、多くの伝道者を育てた。三浦半島の伝道を展開、いくつかの教会を生み出した。また共立女子神学校校長、

フェリス女学院理事長、横須賀学院理事長などを歴任した。

1920年は明治学院神学部出身の貴山栄、長沢正雄が卒業、1921年は東北学院神学部出身の赤石義明、同志社大学神学科出身の小林美登利、同神学科出身の清水久男、明治学院神学部出身の桑田秀延がいる。小林美登利は会津に生まれ、同志社中学から1916年同志社大学神学部を卒業、オーバン神学校卒業後日本民族発展の道は南米にあるとして、ブラジルに渡航働きながらマッケンジー大学でポルトガル語を専攻、24年から『市民』なる雑誌を創刊、日曜学校を開き、翌年聖州義塾を創設し、新移民にブラジルの事情やポルトガル語を教え、また日本人子弟には日本語と剣道を教え、義塾内に単立の教会を設立南米伝道者として働いた。同じ年に卒業した桑田秀延は、オーバン神学校後ハーバード大学に学び、S.T.Mを取得、1923年明治学院神学部専任講師、翌年教授、日本神学校、東部神学校を経て45年日本基督教神学専門学校校長、49年東京神学大学学長を務めた。53年京都大学より文学博士の学位を得た。

1922年は明治学院神学部出身の染谷為助、1923年は大阪神学院出身の長谷川計太郎、明治学院神学部出身の小林喜久七がいる。1924年は明治学院神学部出身の吉川二郎、村上治、山本喜蔵、吉田源治郎、それに東北学院出身が1名いて、5人の者がこの年オーバン神学校を卒業している。

1925年は郭馬西、佐藤良雄、副島信雄の3人が揃って明治学院神学部出身である。1927年は明治学院神学部出身の林正雄、他に同志社出身者の卒業生が1名、1928年は同志社神学部出身の江川榮と磯部敏郎、早稲田大学出身者が1名卒業している。1929年は明治学院神学部出身者が3名、小辻節三、永橋卓介、小栗襄が卒業している。1930年は明治学院神学部出身者宇津木保、聖公会に仕えた中條帷隆、宮城女学院に就職した者一名がいる。1931年一人、1932年も一人卒業、1933年は明治学院

神学部出身の山永武雄，他一名が卒業した。山永武雄は大分県で生まれ，五高時代に受洗，九州大学を経て明治学院神学部を経てオーバン神学校を卒業，帰国後32年から長崎教会牧師を務め，36年から日本神学校に転じ教会史，教理史を講じ，日本基督自由が丘教会を兼牧，44年辞任して帰郷，戦後は西南学院専門学校，関西学院大学教授を歴任，53年から65年までフェリス女学院院長を務めた。

1934年の日本人卒業生は3人，1936年は一人，1937年には二人の女性が卒業している。沖縄出身で，ハワイ大学からオーバン神学校を卒業した知念蒲助とその妻知念初枝，その同級生に稲垣徳子がいる。稲垣は卒業後，芝教会に赴任し富田満の後，生涯芝教会に仕え都会の教会を住家として孤軍奮闘した女性教職である。そして，1939年オーバン神学校最後の日本人教職は，菅生三雄と他一名が卒業している。

注

- (1) *General Biographical Catalogue of Auburn Theological Seminary 1818-1018* Auburn Seminary Press Auburn, N.Y. 1918
- (2) 『福音新報』明治43年1月13日，79号
- (3) *The Auburn Seminary Record*, November 10, 1909
- (4) 明治学院神学部出身者については，次の資料でも確認した。明治学院同窓会，遠藤永太郎編集兼発行人『明治学院同窓会会員名簿』1984年10月，また氏名と出身については，次のものを参照した。『日本キリスト教歴史大事典』教文館，1988年2月，日本基督教聯盟『基督教年鑑』昭和十六年版。卒業生73名の中には名前がはっきりしないものもいた。なお，Auburnの読み方であるが，古い文献にはオーボロンと発音しているが，ここではオーバンと記した。
- (5) *General Biographical Catalogue of Auburn Theological Seminary 1818-1018* Auburn Seminary Press Auburn, N.Y. 1918 pp86
- (6) 村田四郎「回顧五十年」村田四郎博士記念論文集『原始キリスト教研

究』創文社昭和37年7月，352頁～353頁
(7) 伊藤静枝他『森田金之助の追憶』1978年11月

付記 「日本人留学生のリスト」についてはできるだけ原文通りとした。但し，明らかに間違っているものについては訂正した。

3. 資料紹介：日本人留学生のリスト

この箇所では，資料紹介ということでオーバン神学校を卒業した日本人留学生と，オーバン神学校を卒業し来日したアメリカ宣教師を紹介することとしたい。その場合，それぞれを翻訳して紹介するということも考えたが，かえってそのまま紹介した方が良いのではないかと考えて英文のままとした。ただ，名称の省略が多くみられるので，意味が分からないということが起こるといけないので，「Abbreviations Denominational」を巻末につけることにした。

General Biographical Catalogue of Auburn Theological Seminary 1818-1918 Auburn Seminary Press Auburn, N.Y. 1918

1885

NAOMI TAMURA b. Osaka, Japan, Aug. 9. 1859: Meiji Gakuin, 1878: Princ. T.S., 1885-6: m. Ei Tamura, Jan. 15. 1890: ord. Tokyo Presb., Dec. 19, 1879: 1st Indep. Presb. ch., Tokyo 1879-82, 1885-; Pub. Why I Believe Christianity, 1886; Commentary of Four

Gospels, 1888; Japanese Concordance, 1889; Japanese Bride (English), 1893; New Grade Sunday School Lessons, 1907-11; Twentieth Century Sunday School 1908

1889

KOREHIRO SOGAKU KURAHARA b. Kumamoto, Japan, July 15, 1862: stud. Doshisha, Sch., Kyoto, 1875-6; Bamgor, T.S., 1885-6; Andover T.S. 1886-7; Aub. 1887-9; tea. Boys and Girls' Sch., Kumamoto, Japan, 1889-; also p. of Japanese ch. there; lect. at Waseda and Keiogijiku U., Tokyo; mem. House of Commons, Imperial Diet,

1895

KUMETARO SASAO PH. D., b. Shimonoseki, Japan, Feb. 25, 1871: Meiji Gakuin, 1892: aub 1892-5; Columbia U. 1895-6; gr. st. Union T.S., 1895-6; Berlin U., 1896-7; Halle U., 1897-8; Bonn U., 1898-9; Ph. D. Bonn U., 1899; ord. -- Prof. Theol. and Philos., Tohoku Gakuin, Sendai; Japan, 1900-

1900

FUMIO MATSUNAGA b. Saga, Japan, Dec. 24, 1873, Meiji Gakuin, 1895; Aub. 1898-1900; m. Nobu, 1902; ord, Tokyo, Japan Tokyo Presb., Apr. 2, 1901; p. ch. Kochi, Japan, 1895-6 Japanese Presb. ch., San Francisco, Calif., 1896-8; Nihonbashi Ch., Tokyo, 1900-05; prof. Ch. Hist., Meiji Gakuin T.S., 1905-15; Vancouver, Canada, 1915-17; Japanese Christ. Assoc., N.Y. City, 1917-

1902

HIDETERU YAMAMOTO b. Mineyama, Tango, Japan, Oct. 30 1859; Meiji Gakuin, 1881; p.g. Auburn, 1901-2 m. Sato Sakabe, Yokohama, 1886; m. Suta Kurimoto, Tokyo, 1910; ord. Yokohama, Tokyo Presb., 1885; miss. work, Nagoya and Tokyo, 1880-3 tea. Ferris Seminary Yokohama, 1887-1901 Yamaguchi Ch., 1902-6; Heigasi Ch., Osaka, 1906-8; prof. Past. Theol., Meiji Gakuin T.S., 1908-

1904

RENPEI MINAMI b. Hiroshima Jap. Oct. 12, 1876; Meiji Gakuin, 1896; Aub. 1904-04 Ea Meiji Gakuin

1905

SUSUMU TAJIMA b. Isobe Gummaken, Dec. 7, 1876; Meijigakuin, 1896 Theol. Dept., 1899; Aub. 1901-4: p.g. Union T.S., 1904-6; m. Sei Aruza, July 24, 1907; ord. Tabanawa Ch. Tokyo, Tokyo Presb., Apr. 25 1907 Tokyo, 1906; lect. on Old Tes., Theol. Dept. Meiji Gakuin Tokyo, 1908-

MASUE KAWAZOE b. Kochi, Japan Sep. 26 1870; Meiji Gakuin, 1892-6: m. Mamiko Yagihashi, Apr. 8 1908: ord. Tokyo, Japan, Tokyo Presb. Apr. 11 1897; Shinshu, 1896-1902; tea. Theol. Sch. Tokyo, 1905-6 p. Nagasaki, 1906-9; Osaka, 1909-10; mem. Bible Revision Com. Tokyo; Contributor to Fukuin Shinpo, 1905-6

SHIOSAKU BABA b. Gyoda, Saitama-ken, Japan, July 24, 1863; Meiji Gakuin, Tokyo, 1885; Meiji Gakuin T.S. 1888; Aub. 1902-4 m. Matsue Sakata, Osaka July, 1893; ord. Tokyo, Tokyo Presb., Oct.

13, 1888: Asakusa Ch. Tokyo, 1888-90; West Ch. Osaka, 1890-
KANJI MORI b. Newgaku, Miyakogun, Fukuokaken, Japan, Oct.
24, 1866; Meiji Gakuin T.S. 1890-3; Aub. 1902-4: m. Kaworu
Okamoto, Kanagawa, July 12 1898; ord. Kanagawa Japan, Koniwa
Presb. Oct. 12, 1898: Kanagawa, 1898-1902; Shiloh Ch., Yokohama,
1904-: educ, work, Tokyo T.S., 1904: lect. Union T.S., for women,
Yokohama, 1904-

1906

KOTARO HIKARU b. Kokura, Kyushu Prov. Japan, June 4, 1865;
Meiji Gakuin Col., 1890; Aub. 1903-4; Union T.S., 1904-5: m. Toku
Yamada, Shizuoka July 26, 1893; ord. Tokyo, Tokyo Presb., July 30
1893; Shizuoka 1890-3; p. ch. Of Christ, and in Charge of Girls
High Sch., Otaru, 1893-; Pub. Heiwa, (Peace), monthly paper on
Christianity,

1907

MANJI NAGAYAMA b. Mito, Japan, May 2, 1874; Meiji Gakuin,
1893; Meiji Gakuin T.S. 1893-6 Aub. 1904-6; m. Chiyo Kendo,
Tokyo Sep. 11, 1906; ord. Kanagawa, Dist. Presb., Dec., 1906;
Kanagawa, 1906-14; Yamada, 1914; Pub. The Light, from 1911,

1908

SHOJI MURAKAMI b. Sakuyama, Machi Tochigiken, Japan, Sep.
15, 1882; Aoyama Gakkuin, 1901; Taylor U., 1905; Aub. 1905-8;
New Col., Edinburgh, 1910-11; m. Takeko Oisi, Oct. 12, 1911; sec.
Y.M.C.A., Kyoto, 1911-

SHIGERU MOHARA b. Okayama, Japan, Feb. 15, 1869; Doshisha U., Kyoto, Japan, 1892; Ruskin U., 1894; Alfvéd U., 1905; Aub. Jan., 1906- May 1907; m. Nei Nakashima, July 25, 1897; not ord.; Prin. Commercial Col., Matsue, Shimane, Japan, 1909-18; Prin. Girl's Sch., Tokane 1918; Prin. Chosi Commercial Sch., Chosi Chiba, Japan

1909

NAOCHIKA OHNO b. Tokyo, Japan, Nov. 2, 1879; Meiji Gakuin, 1905; Aub. 1906-9; p.g. Aub. 1909-10; p.g. Princ. T.S., 1912-13; m. Kiyo Ogawa, Apr. 3, 1905; m. Hide Ogawa, 1913; ord. Auburn Cayuga Presb., Feb. 27, 1910; P. Los Angeles, Calif., 1911-12; p. Minatogawa Presb. Ch., Kobe, Japan, 1913-

TOKUSABURO MATSUMOTO b. Tosa, Japan, May 15, 1879; Meiji Gakuin, 1904; Aub. 1907-10; p.g., Aub. 1910-11; m. Shunko Oishi, Oct. 5, 1911; ord. Tsu Ch., Naniva Presb., May, 1913; p. Tsu Ch., Ise, Japan, 1913-

1910

SENJI TURU b. Usa Buzen Japan, Jan. 27, 1884; Meiji Gakuin, 1907; Aub. 1907-10; St. Edinburgh U., and New College, 1910-11; m. Masui Hara, Meiji Gakuin, Tokyo, Japan, Dec. 18, 1912; ord. Meiji Gakuin Chapel, Tokyo Presb., Dec., 1913; prof. Meiji Gakuin, Tokyo Japan, 1911-

1911

MOTOKICHIRO AUSAKA b. Hashitate, Ishikawa, Japan, June

21, 1879; stud. Imperial u., Tokyo; Aub. 1908-11; stud. New College, Edinburgh, Scotland, 1911-12; m. Misao Matsumoto, Oct., 1913; ord. Takanawa Ch., Tokyo, by Tokyo Presb., Dec., 1912; Takanawa Ch. Tokyo, 1913-18; Osaki ch. Tokyo. 1918-

KINNOSUKE MORITA b. Tokyo, Japan, Mar. 4, 1878; Meiji Gakuin, 1900; m. Nao Takemoto, July 29, 1903; ord. Naniwa Presb., Apr. 14, 1914; p. Takefu Ch., 1900-2; Ashikaga, 1902-8 MinamiTemma Ch. Osaka, 1911- Prof. Doshi-Shinngaku-Kway, Osaka, 1911-

KYUJIRO SHIMIZU b. Shinano, Hokkaido, Japan, Feb. 1, 1868; Meiji Gakuin, 1897; Aub. 1908-10; m. Chiyoko Sakai, May 13, 1899; ord. Hokushin Ch., Miyagi Presb., Apr., 1897; P. Hokusin Ch. 1897-1913; Shidzuoka Ch., 1913-17; Tientsin Ch., China, 1917-

1912

KUMAJI TSUCHIDA b. Nagaoka, Japan, Jan. 7, 1872; North Japan Col., 1894; T.S., 1897; Aub. 1909-11; m. ____ Kini Dec. 22, 1898; ord. Akita Ch., Miyagi Presb., April, 1906; P. Akita Japan, 1897-

1913

SUYEKICHI YOSHIMURA b. Kochi, Tosa, Japan, Aug. 8, 1871; North Japan Col., 1900; Aub. 1910-11; not ord; Japanese Ch., Watsonville Calif; tea, Tokyo, Japan

1914

SHIRO SEGAWA b. Nagasaki, Japan, May 12, 1888; Meiji Gakuin,

1911; B.D., Aub., 1914 p.g. Aub. 1914-15; asst. Prof. Church History, Meiji Gakuin, Tokyo, 1914-18; res. Oita, Kyushu, 1918

1915

KO DEMURA b. Niigata, Japan, Dec. 1, 1885; Tohoku Gakuin 1907; B.D., Aub., 1915; p.g. Ref. Ch. Sem., Lancaster. Pa., 1917-18; m. Tsune Hirawashi, Pasadena, Calif., June 5, 1916; ord. Pasadena, Calif., Cong. Council, Feb. 28 1917; Japanese Ch., Pasadena, Calif., 1915-17; prof. Tohoku Gakuin, Sendai 1918-

SHIRO MURATA b. Yamaguchiken, Japan, Sep. 3. 1887; Meiji Gakuin, 1911; B.D., Aub., 1915; res. Grad, fellow, Aub., 1915-16; m. M. Ogawa, Tokyo, Dec. 22, 1916; ord. Tokyo Presb., July 7, 1911; P. Kiri Ch., Kiri, Gumma-ken, 1911-12; prof. Doshi-shingak-way, Osaka, 1916-18; chap. Meiji-Gakuin, 1918-

1918

MOTOSHIGE OSEKO b. Takaoka, Miyazaki, Japan, Nov. 25, 1855, Meiji Gakuin, 1911; Aub. 1915-16; sp.st. Union T.S. 1916-17; m. Hanna ____, 1911; ord. Riverside, Calif. 1913; p. Tetsurei, Manchuria, 1911-12; Riverside, Calif., 1912-15; prof. Sei-Gakuin, Theol. sch., ord. Keio Univ., Tokyo, Japan, 1918-

General Biographical Catalogue of Auburn Theological
Seminary 1919-1940 with Supplementary Biographical
notes on Auburn From the Classes 1846-1918 Auburn
Theological Seminary New York City, N.Y. 1960

1919

MATSUO, Mikizo; b. Minato Machi, Nagasaki-ken, Japan, Mar. 1, 1890; Meiji Gakuin, 11; Meijigakuin T.S., 11-14; Aub. TS., 16-19, B.D.; ord. (Presby., Tokyo, Japan) Kamakura, ch., 21; Edinburgh, Scotland; pas. (Kamakura Yukino Shita) Yokohama, Japan, 20-

NIHEI, Yozo; b. Aizu Wakamatsu City, Japan, May, 26, 1884; Doshisha C., 07; Aub. TS., 18-19; ord. (Cong. Convention, Kumiai ch.) Tokyo, Japan, Oct. 09; Pas. Matsuyama ch., 07-15; Pas. Imadegawa ch. 15-18; Pas. Sugamo ch., 22-26; Monastorio life at Karasuyama (Tokyo) 26-45; Pas. St. John ch., 45-

YAMAMOTO, Yaichiro; b. Wakayama, Japan, NV. 5, 1888; Meijigakuin, 16; Aub. TS. 16-19, BD. Osaka, Japan Yoshida Ch. Yoshida Kyoto, Japan; Setagaya, Japan; tea., Meijigakuin, Tokyo, Japan, 45-

1920

KYAMA, Sakae; b. Tokyo, Japan, JL. 12, 1893; Meiji Gakuin C., 14; Tokyo TS., 14-17; Aub. TS., 17-20; ord. (Presby., Manshu, Ryojun) 23; Edinburgh, Scotland; pas. (Christ ch.) Hoten, Manchuria, 21-23; pas. (Christ ch.) Ryojun, Manchuria, 23-37; pas. (Christ ch.) Tokyo, Japan, 37-,

NAGASAWA, Masao; b. Niigata, Jap., Ag 4, 1888; Meiji Gakuin C.,

15; Meiji Gakuin TS., 15-16; Aub. TS, 17-20. B.D.; d. about 1942

1921

AKAISHI, Yoshiaki; b. Yokohama, Japan, Oc. 28, 1887; No Japan Col., 14 Aub. TS., 21, BP, U.T.S. 21-22 postgrad; ord (Japan Conf. of M.P. Ch.) 1918 prof. (Homiletics and Past Theol.) No-Japan Col., 22-41; No. 1, 9 Chome, Minami Sotoburicho Nakaku Nogoya, Japan, 41-

KOBAYASHI, Midori; b. Takada, Fukushimaken, Japan, Ja. 8, 1892; Doshisha C., 16; Pacific Sch., Riligion, 18-19; Aub. ES., 19-21; Sao

KUWATA, Hidenobu; b. Kagawa, Japan, Fb. 28, 1895; Meiji Gakuin C., 18; Kyoto U., 53, D. Lit.; Aub. TS., 18-21, B.D.; Harvard U., Div. Sch., 22, S.T.M.; ord. (Presby., San Francisco, col.) 22; Shiba, Tokyo, Japan, 21-23; lect. Meiji Gakuin Sem., 23-24; prof. (theol.) Meiji Gakuin Sem., 24-30; Prof. (theol.) Japan TS., 30-43; prof. (theol.) Tokyo Union TS., 43; Pres., Tokyo Union TS., 44-

SHIMIZU, Hisao; Doshisha U., 16; Aub. TS., 20-21; c/o Kikka Joshi; Senmon Gakko, Fujinomori, Fukushima Kyoto,

1922

SOMEYA, Tamesuke; b. Japan. My 15, 1895; Meiji Gakuin TS., 14-19; Aub., TS., 19-22, B.D.; New Heven, Conn, 22, Paris, France; Geneva, Switzerland; Tokyo; Japan

1923

HASEGAWA, Keitaro; b. Japan, Jn. 1, 1891; Osaka C., 17; Aub.

TS., 20-23; ord. (ch. of Christ in Japan) Osaka, Japan, 30; Osaka Shingakuin, Osaka, Japan, 23-28, Nishi Kyokai, Nishinomiya City, Hyogoken, Japan; sem., Kobe, Japan, 28-49; Kansai Bible Sch., Kobe, Japan, 49; pas. (Minatogawa ch.) Kobe, Japan, 47-

KOBAYASHI, Kikushichi; b. Ueda, Japan, My. 19, 1895; Meiji Gakuin C., 14 Aub. TS., 20-23; d. 1937

1924

KIKKAWA, Richard Jiro; b. Tokyo, Japan, Ja. 11, 1897; Meiji Gakuin C., 15-18; Aub. TS., 21-24, B.D.; U.T.S., 25-26; San Francisco, Cal., 26-27; Seoul, Korea, 27; Keijo-Fu, Chosen; Tokyo, Japan, 37

MURAKAMI, Osamu; b. Japan, Mr. 15, 1890; Kaisei C., 08-09; St. Paul, 09-10; Japan C., 10-11; Tokyo TS., 10-13; Aub. TS., , 22-24; ord., Japan, 16; Pas. (Presb.) Murakami, Japan 13-15; Pas. (Antung Presb.) Manchuria, 15-16; Pas. (New-Wiji) Korea, 16-18; Pas. (Shanghai Jap. Ch.) China, 18-22 Moji, Japan, 24-27; Meiji Gakuin, Tokyo, Japan, 27-36; Pas. (Peiping Ch.) North China, 38-46; Pas. (Moji Ch.) Moji City, 46-48; Pas. (Yahata Ch.) Yahata City, 48-

SATO, Kiju; b. Japan, Fb. 2, 1898; Tohokugakuin U. 16-19; Aub. TS., 22-24, B.D., m. Aki Ono, Jap. Mr. 28, 1922; d.

YAMAMOTO, Kizo; b. Yamada, Ise, Japan, Ja. 6, 1889; Meiji gakuin, 08-10; Meiji Gakuin TS., 10-13 Aub., 21-24, B.D.; ord. (Presby., Yokoswka, Japan) Ap. 17; Tokyo, Japan

YOSHIDA, Genjiro; b. Ise City, Japan, Oc. 2, 1891; Meiji Gakuin, 14-16 Meiji Gakuinn TS., 15-18; Aub. TS., 22-24, B.D.; U. T.S., 24; ord. (Nihon Kirisuot Kyokai, Kobe, Japan) 26; Pas. Fushimi, Japan,

18-26; pas. (Futaba ch.) Nishinomiya City, Imazu, Japan, 23-25;
pas. (Shinjima ch.) Shikanjima Konohanaku Osaka Japan 25-47;
pas. (Ichibaku Ch.) Nishinomiya City Nishinomiya Japan, 46-47;
Pas. (Uniami Roto ch.) Koryo-cho, Nara-ken, Japan, 47-

1925

KAKU, Mathew (Basei); b. Japan, Nv. 13, 1892; Meiji Gakuin C.,
16-18; Meiji Gakuin Sem., 21; Aub. TS., 22-23, B. Th.; Taiwan,
Formosa, 25; Shanghai, China; Tokyo, Japan,

SATO, Yoshio; b. Japan, Dc. 14, 1899; Meiji Gakuin C. Meiji Gakuin
TS., 20-23; Aub. TS., 23-25, B. Th.; ord. (Presby., Tokyo, Japan)
Ap. 4, 22; Tohoku Gakuin Sem., Sendai, Japan, 27-30; Pas. (Hongo
Presby. Ch.) Tokyo, Japan, 30-35; pas. (Iogi Presby. Ch.) Tokyo,
Japan, 35-

SOEJIMA, Nobumichi; b. Japan, Ja. 3, 1896; Meiji Gakuin C. 15-
17; Meiji Gakuin TS., 17-20 Aub. TS., 24-25; d. Japan 1956

1927

HAYASHI, Masao; b. Narita-Machi, Japan, Fb. 5, 1900; MeijiGakuin,
23; Meiji TS., 23-26, Aub TS., 27, B. Th.; Princeton TS., 30; Narita,
Chiba Ken, Japan, 29-33; Matsuo-Machi, Chiba Pref. Japan, 33-35;
prof. Japan U., 35-42, lect., Keio U., 42-43 prof. Kokugakuin U., 43-
54

MIKAWA, Kinnezo; Doshisha U., 26 Aub. TS., 26-27

1928

EGAWA, Jonathan Sakaye; b. Bange, Fukushima, Japan, Mr. 17,

- 1894; Doshisha U. 16-18 Aub. TS., 25-28, B. Th; ord. (Cong. Ch.) Nippon Kumiai Kyokai, 30; Cambridge, England, 28-29; Kumiai Kyokwai, Otaru, Japan, 29-35; Utsunomiya, Japan, 35-39; Annaka, Japan, 39,
- ISOBE, Toshiro; b. Yamaguchi, Japan, Ja. 1, 1884; Doshisha U. 11; Aub. TS; 28; ord. (Japan Cong. Ch.) Tokyo, 17; pas. Kyoto, Japan, 11-13; pas. Hiroshima, Japan, 13-15; sec. (Japan Cong. Ch.) Osaka Japan, 15-17; pas. Dairen, Manchuria, 17-47; pas. Fukuyama, Japan, 47-54; pas. Osaka, Japan, 54-55; pas. (Shikishima Ch.) Tokyo, Japan, 55-
- TAKAMI, Kazuo; Waseda U., Japan; Aub TS., 27-28

1929

- KOSEKI, Koichiro; b. Japan, Ap. 25, 1898, Tokyo C., 20; Tohoku Gakuin TS., 20-23; Aub TS., 27-29; B. Th; pas. Jap., 23-27; d.
- KOTSUJI, Abraham Setsuzo; b. Kyoto City Japan, Fb. 3, 1899; Meijigakuin C., 16-19; Aub. TS., 28-29; Meijigakuin C., 23; ord. (by Rev. Kikkawa) Gipi Japan, Ja. 10, 26; pas. (Asahikawa Ch.) Asahikawa, Hokkaido, Japan, 23-25; pas. Gifu, Japan, 25-27; prof. (Aoyama Gakuin Sem.) Tokyo, Japan, 31-34; pres. (Inst. Biblical Reseach) Tokyo, Japan, 34-38; president's secretariat, Southern Manchuria Railway, Manchuria-Dairen, 38-40; prof (Kanto Gakuin U.) Yokohama 49-
- NAGAHASHI, Takusuke; b. Japan Dc. 10, 1900; Tokyo C., 23, B.A.; MeijiGakuin TS., 23-26; Aub. TS., 27-29, B. Th., 29-30 Mihara Mura, Kochiken, Japan, 30
- OGURI, Jonasan Jozo; b. Tokyo, Japan, Mr. 12, 1902; MeijiGakuin,

23; Princeton TS., 28 Aub. TS., 29

1930

ENDO, Kozo; b. Yonezawa, Japan, Ag. 9, 1903; N. Japan C. 26; Aub TS., 27-30, B. Th.; prof. Miyagi Women's College, Sendai, Japan, 38-

NAKAJO, Kenneth W; b. Tokyo, Japan, Ja. 28, 1892; Waseda U., 18; U-dubuque; Aub. TS., 29-30

UTSUGI, Tamotsu; b. Chiba Prefecture, Japan, Dc.14, 1897; Meiji Gakuin C., 23; Aub. TS., 28-30; Theol. Sem Lancaster, Pa., 30; Tokyo Japan, 56

1931

KITANO, Koichiro; b. Japan, Dc. 11, 1895; Seigakuin Bible C., 19; Aub TS., 28-31; Sendai, Japan

1932

WATANABE, Go; b. Sendai, Miyagi-ken, Jan. 11, 1901; N. Japan C and Theol., Dept, 28 Aub TS., 29-32, B. Th.; ord (Sem Chapel) Ap. 18, 32 N. Japan C Prof. of Theol., Sendai Japan, 32-; d.

YAMANAGA, Takeo, b. Oitaken Japan, Jl. 25, 1903; Meijigakuin; Aub TS, 30-32, B Th., ord, (Presby., Chinzei, Nagasaki) 33; pas. (Presb.) Nagasaki, Japan, 32-37; prof., Japan Theol. Sem., Tokyo, Japan, 37-44; pas. (Jiyugaoka Presb.) Tokyo, Japan, 39-43; prof. (Seinan Gakuin Univ., Theol. Sem.) Hukuoka, Japan 46-51; prof. (Kwansei Gakuin Univ.) Nishinomiya, Japan, 51-53; pas. (Shirogane Ch.) Tokyo, Japan, 51-; Ferris Girls High Sch. and Jr. Col.

Yokohama, Japan, 53-

1934

KATSUYAMA, Yasutaro; b. Kyoto, Japan My. 11, 1904, Doshisha
TS; Aub. TS., 32-34, B. Th. 34-35 M. Th. Kyoto Japan Kofu City
Japan 50

OSAKI, Laurence Hiroshi; b. Hiroshima, Japan Mr. 30, 1906;
Defiance C., 30, B.A. Aub TS, 32-34, B. Th; Evang. Missions,
Waiialua, Hawaiian Islands, 34-

YAMAZAKI, Kinjiro; b. Kyotofu, Japan, Dc. 16, 1906, English
Teachers Inst., Otaru C; Aub TS. 34

1936

IINO, David Norimoto; b. Tokyo, Japan, Fb. 11, 1908; Aoyama
Gakuin C. Tokyo; Pomona C., 33 Aub TS., 36 B, Th. Boston U. Sch.
Theol., 36-37; ord (Meth. Ch) Oakland, Cal., 40; pas. Walnut Grove,
Cal. 40-41; Aoyama Gakuin U. Tokyo, Japan, 41; ICU., Tokyo, 51-

1937

CHINEN, Hatsue Florence; b. Okinawa, Japan, Nov. 20, 1904, Aub.
TS., 36-37 wife of Theodore Kawasake Chinen

CHINRN, Theodore Kawasake, b. Okinawaken, Japan Nv. 25,
1902; U. Hawaii 31, B.A: Aub TS. 34-37, B Th. ord (Hawaiian
Evang. Assoc.) Hawaii, 32 miss. wk. Hawaii; pas. (Centva Kana U.
ch) kona Hawaii, 37-41 pas (Honoruru Christ Ch.) Honoruru
Hawaii, 41-46; pas. (Christ Ch) Hanapepe, Kanai, Hawaii, 46-51
pas. (Cong) Paia, Maui, Hawaii 51-

INAGAKI, Tokuko, b. Tokyo, Japan, Ja. 9, 1910 Japan Women's U.
Japan TS: Aub TS 35-37, B Th; asst. pas. (Shiba Ch.) Tokyo Japan
37-

KURODA, Andrew Yoshinobu; b. Yokohama Japan, Dc. 29, 1910;
Meiji Gakuin C, 33 Aub TS, 34-37, B, Th; Biblical S., 38 ord
(Presby. Cayaga, N.Y.) Sp. 10. 37. Japanese Christ Inst. N.Y. City
37-38 pas. (Japanese Christ M.E. Ch.) Wapato Wash, 38-41 pas
(Japanese Con. Ch.) Salem, ord. 41-42 pas (Tule Lake Ch) Ncwell
Cal, 42-43 war serv. Japan Christ Fell, Washington, D.C. 46-47
assis pas. in chge of Japanese work. (1st E&R) Washington D.C.
48-54; asst. pas. in chge of Japanese Chu Fell (Grace E&R)
Washington D.C., 54-

1939

SHIRSTO, Jiro (James) b. Denver Colo. Ap. 21, 1912 Nippon TS.,
38; Theol Sem., Japan; Aub TS, 38-39; U. T.S. 39-40; ord (United
Ch. of Japan, Tokyo) Dc. 13, 46; asst. min. Shinsei (United Ch.
Christ in Japan) 40-45; min. Shinsei, 45-

SUGO, Mitsuo; b. Taira-Shi, Fukushimaken, Japan, Ap. 5, 1903 N.
Jap. C. and TS., 30: m. Misao Sugo, Mr. 29 1930, Aub TS, 39; d. Ja.
1941

General Biographical Catalogue of Auburn Theological
Seminary 1818-1918 Auburn Seminary Press Auburn,
N.Y. 1918

(日本にかかわった外国人の卒業生) p.129

1859

GUIDO HERMAN FRIDOLIN VERBECK, D.D., b. Zeist near Utrecht, Holland, Jan. 23, 1830; Moravian Acad., Zeist, 1848; Polytechnic Inst., Utrecht: D.D. Rutgers Col. 1875; Japanese order of "Rising Sun" 1877; m. Maria Marion, Philadelphia, Apr. 18; ord. Auburn, Cayaga Presb., Mar. 22, 1859 miss. Ref. Ch., Japan; Nagasaki, 1859-69; Tokio, 1869-89 (in Imperial Japanese Govt. service. 1863-78; pres. Imperial Univ. of Tokio); miss work Tokio, 1890-8; pub. In connection with others, many tracts, public documents, and miss. reports, de. Mar. 10 1898

1869

HERRY LOOMIS, b. Burlington, N.Y., Mar. 4, 1839; Capt. of U.S. Vds.; Ham. Col. 1866; m. Jane Hrring Greene, N.Y. City Mar. 6, 1872; ord. 2d Presb. Ch. Auburn, Cayaga Presb. May 2, 1869 Jamesville, 1870-1; miss. Presb. Bd., Yokohama, Japan, 1871-6; res. San Rafael, Calif., 1876-81; supt. of work of Am. Bible Soc., for Japan, res. in Yokohama, 1881

1877

GEORGE WILLIAM KNOX, D.D., LL.D., b. Rome, N.Y., Aug. 11, 1853; Ham. Col. 1874; D.D., Princeton, 1888; LL.D., Hobart, 1904; m.

Anna Caroline Holmes, Auburn, May 11, 1877; ord, Elmira Chemung Presb., June 3, 1877; miss, of Presb. Bd. to Japan, 1877-93 p. Rye, N.Y., 1894-99 lect Apolpgetics, Union T.S., 1897-99, and Prof. Philosophy and History of Religion and Missions, 1899-1912; pub. Koyeki Mondo, 1st series, 1881, 2d series, 1882; Fundamental Proofs of the Christian Religion; Japanese Life in Town and Country; The Spirit of the Orient; Development of Religion in Japan; The Gospel of Jesus and many periodical articles; d. Seoul, Korea, Apr. 25, 1912; son of Dr. Wm. Eaton Knox, cl. 1843

1870

CHARLES H. WALFF, b. in Holland about 1840; stud. Amsterdam Gymnasium; m. Miss Duboc, Auburn, 1870; ord, Auburn, Cayaga Presb. July 20, 1870; miss. Ref. Ch., Japan, 1875-82; Hiroshima, Nagasaki, 1870-5; Govt. Schools, Japan, 1875-82; Tokyo, 1882

1889

HERVEY DE LOSS LELAND, b. Elkhorn, Wis., Mar. 6, 1872; Yale, 1885; Union T.S. 1885-8, Union T.S. 1885-8, p.g. Aub. 1888-9; ord. Utica, N.Y. Cayaga cl. (Ref. ch.) May 11, 1888; Owasco Outlet, N.Y. 1889-9; instr. Eng., Middle Sch. Hikone, Japan, 1889-91; Same Osaka, 1891-2; p. America (Smithfield), N.Y. 1892-6; Cong. Ch. Bremen, Ind. 1897; Pierce Ave. Presb. Ch., Niagara Falls, N.Y., 1897-8 Cong. Ch. Paola Kan., 1898-1900 Presb. Ch., Howard, 1900-1; instr. Eng. Middle Sch. Iwakuni, Japan, 1901-11; same, Naval Col., Etajima, 1911-; ord. Ch. of England 1915-

1896

HARVEY BROKAW, D.D., b. Middlebush, N.J., Apr. 20, 1869; Park Col. 1893; West, T.S. 1893-5; Aub. 1895-6; D.D., Park Col., 1914; m. Olivia Bell Forester, Williamsport, Pa., Aug. 31, 1893; ord. Mifflinburg, Pa. Northumberland Presb. June 9, 1896; prea. Trout Run and Bodines, Pa., 1893; Pleasanton, Kan., 1894; s. Northumberland Presb., 1895; miss. Kanagawa, Kaga, Japan, 1896-9 Hiroshima, 1900-5; Kure, 1905; ed. and pub. *The Gospel Message in Japan*, 1892-4; 1909, address Kyoto, Japan

Abbreviations Denominational

AME.	African Methodist Episcopal
Bapt.	Baptist
Cath.	Catholic
Cong.	Congregation
Disc.Ch.	Disciples of Christ
Epis.	Episcopal
Evang.	Evangelical
Luth.	Lutheran
Meth.	Methodist
M.E.	Methodist Episcopal
P.E	Protestant Episcopal
Presb.	Presbyterian
Ref. Ch.	Reformed Church
Zion AME	Zion African Methodist Episcopal

Institutions, Etc.

A.B.C.F.M.	American Board of Missioners for Foreign Associations
A.M.A.	American Missionary Associations
AmC&Thed.Inst.	American College and Theological Institute
Am Cooperative Rel. Assoc.	American Cooperative Religious Association
Aub. TS	Auburn Theological Seminary
CCNY	City Collage of New York
McCor.TS	Mc Cormick Theological Seminary
New Col.	New College, Edinburgh
N. Japan C.	North Japan College
N.Y.U.	New York University

Pitt st Nor.	Pittsburgh State Normal School
Princ.	Princeton
ProtC	Protestant College(Beirut)
Cou.of Cong. Assoc.	Council of the Congregational Association
Geo.Wash.U.	George Washington University
Ha.C	Hamilton College
Japan C.& TS	Japan College and Theological Seminary
San Franc.TS.	San Francisco Theological Seminary
Union TS.	Union Theological Seminary, New York City
West TS.	Western Theological Seminary
WmsC.	Williams College
Wash.& Jeff	Washington and Jefferson Collage
Y.M.C.A.	Young Men's Christian Association

Months of The Year

Ja.	January
Fb.	February
Mr.	March
Ap.	April
My.	May
Jn.	June
Jl.	July
Ag.	August
Sp.	September
Oc.	October
Nv.	November
Dc.	December

General

A.B,B.A.	Bachelor of Arts
Acad.	Academy
Act.gen.Sec	Acting general Secretary
adlt.	adult
admis.	Admission
A.M.,M.A.	Master of Arts
a.p.,a.pas.	assistant pastor
assis.	assistant
assoc.	associate
b.	born
B.D.	Bachelor of Divinity
Bd.	Board
Bib.	Biblical
Bph.	Bachelor of Philosophy
B.R.E.	Bachelor of Religious Education
BTh.	Bachelor of Theology
Bul.	Bulgarian
Bus.	Business
c.	college
C.B.N.S.	Cape Breton Nova Scotia
cen.	central
ch.	church
chap.	chaplain
chrnm	chairman
com.	Commission, community
Eng.	England
entd.	entered
ev.	evangelist

オーバン神学校に学んだ人々

exec.	executive
Fed.	Federal, federated
fem.	female
fm.	foreign missionary
fur.	furlough
gen.	general
gr.	graduate
gr.st.	graduate student
hd.	head
hdmstr	headmaster
hist.	history
hom.	homiletics
hosp.	hospital
h.m.	home missions
ins.	insurance
instr.	instructor
inter.	interim
I.T.	Indian Territory
Jap.	Japan
juvl.	juvenile
leag.	league
libr.	librarian
lic.	licensed
lit.	literature
m.	married
cor.sec.	corresponding secretary
cou.	council
d.	died
D.D.	Doctor of Divinity

dea.	deacom
dept.	department
dip.	diploma
dir.	director
dist	district
DivSch.	Divinity School
E.	East
ed	editor.
educ.	education
eld.	elder
emer.	emeritus
M.C.	Medical college
md.cl.	middle class
med	medical, medicine
mem.	member
Mex.	Mexico
mgr.	maneger
mil.	military
miss.	missionary
mod.	moderator
Mph.	Master of Philosophy
N.	North
N.S.	Nova Scotia
N.T.	New Testament
ord.	ordained
org.	organization
O.T.	old Testament
P., Pas.	Pastor
Past.	Pastoral

Pby.,Presby	Presbytery
Pe.	Pastor elect
P.E.I.	Prince Edward Island
P.emer	Pastor emeritus
Pers.	personnel
p.g.	post-graduate
prac.	practice, Practical
Pract.Theol.	Practical Theology
prep.	preparation, prepared
princ.	principal
prob.	probation
prof.	professor
Prot	Protestant
Pub.	Publications
Prt. Priv.	Private
rec	rector.
rech.	research
recv.	received
Ref.	Reformed
rep.	representative
res.	residence
ret.,retd.	retired
rhet.	rhetoric
s.	south
s.c.	Sabbath commission
sch.	school
sec.	secretary
sem.	Seminary
serv.	service

Sprgs.	Springs
sp.st.	special student
S.S.	Sunday School
s.s.	stated supply
S.S.M.	Sunday School Missionary
S.T.D.	Doctor of Sacred Theology
steno.	stenographer
S.T.M.	Master of Sacred Theology
stud.	studied
sup.,supt.	superintendent
sup.	supplied, supplying
syn.	synod
T.C.	Theological College
tea.	teacher
temp.	temperance
tep.sup.	temporary supply
theol.	theological
TS.	Theological Seminary
U.	University
U.S.N.G.	United State National Guard
vols.	volunteers
w.	west
wd.	word
wk	work
wt pt	west point
yrs	years